

いに 井仁の棚田での田植え/稲刈り

・広島県／安芸太田町
・開催時期：春、秋

“井仁のマチュピチュ”で体験する「井仁棚田体験会」

体験学習等のイベント内容

・棚田を保全するため、また地域住民の集いや都市間交流、伝統・文化の継承を目的として、毎年田植えと稲刈りを地域住民と都市住民で行い、井仁地区と都市住民とのふれあいを通して、棚田保全への取組と井仁地区の活性化を図っています。

・広島県北にある、県内で唯一「棚田百選」に選定された棚田で、手作業での田植え体験と、稲刈り体験を行い、地域住民との交流会も行います。

・アメリカのニュース専門放送局「CNN」のWebニュース特集「Japan's 36 most beautiful places（日本の最も美しい場所“36選”）」で広島県では世界文化遺産の『厳島神社』とともに選出され、外国人にも人気の高いスポットです。



取組主体の紹介

「いにぴちゅ会」とは、棚田がインカの有名な遺跡「マチュピチュ」に似ているとのことで名づけられました。棚田保全のため様々な活動を行っており、2018年には活動20周年を記念して、棚田の魅力について知る講演会等も開催しています。

イベントに参加するには

例年5月末頃まで参加募集を行っています。下記メールアドレスまたはFAXにて氏名・年齢・住所・代表者様のご連絡先をご連絡下さい。

・取組主体等：いにぴちゅ会

・問合せ先：0826-22-6789（TEL、FAX）

ini.tanada.office@gmail.com

・参考URL：<https://cs-akiota.or.jp/enjoy/tourism/ini-tanada/>



山に囲まれた自然がいっぱいの阿東で農作業体験！

体験学習等のイベント内容

・ 元「山口県農業試験場」の跡地にある「阿東ふるさと交流農園」は、用水設備やビニールハウス、農業用具の無料貸出などの環境も充実しています。農業インストラクターも、気さくで知識豊富な方々ばかりだから安心して野菜作りが楽しめます。

・ 体験内容は、いもの植え付け・収穫や玉ねぎの収穫がメインですが、他にも収穫した野菜を使ってのバーベキューやピザづくり、ハロウィーンパーティーなども企画されています。

・ 家族一緒に、特に御子様に楽しんでもらう工夫が満載。利用者からは、農作業を通じ、地元の方とのふれあいや家族間のコミュニケーションを楽しみ、農作物や健康への意識が向上したとの声もあります。



取組主体の紹介

昭和28年4月に山口県農業試験場の徳佐寒冷地分場が設置され、平成20年3月に廃止となった施設を平成22年に阿東ふるさと交流促進センター（通称「阿東ふるさと交流農園」）として活用し、市民農園を通して農業振興と地域活性化をはかることになりました。指定管理者として、NPOあとう（あとう観光協会）が、平成22年4月から当農園を管理をしています。

農業体験ばかりではなく、通年での野菜づくりにも挑戦してみてください。

イベントに参加するには

農業体験等は、年によって実施時期が変わることがあります。以下のHP等で確認の上、お申し込み下さい。

- ・ 取組主体等：阿東ふるさと交流促進センター
- ・ 問合せ先（TEL等）：083-956-2194
- ・ 参考URL：<https://npo-ato.wixsite.com/ato-nouen>



芋堀り体験農園 里むすめ畑

・徳島県／鳴門市
・開催時期：8月～9月、不定休

なると金時の地域ブランド「里むすめ」収穫を気軽に体験！

体験学習等のイベント内容

- ・親子で気軽に農作物収穫体験が楽しめる、一般の方に農作業体験等を通じて農作業の面白さを感じてもらっています。
- ・鳴門の海の潮風香る広大な砂地畑で、最上級のなると金時「里むすめ」を自分の手で掘ってお持ち帰りいただけます。
- ・砂地の畑で、小さなお子様でも簡単に芋堀りができます。水はけ良く、海砂からのミネラルにより甘く育った「里むすめ」を是非味わって下さい。
- ・この活動には県外からも多くの家族が参加し、農作業の楽しさを味わっています。



取組主体の紹介

なると金時「里むすめ」、青首大根「里むすめ」といった、さつまいも・だいこんのブランド産地である里浦の農業・農業者等を支える組織「JA里浦」が100%出資し創設した株式会社です。農地の経営（甘藷・大根の生産）、農作業支援（ファームサービス）、生産物及び加工品の直売事業等、幅広い事業を展開しています。

イベントに参加するには

参加を希望される場合は、一週間前までに下記へ予約を。

- ・取組主体等：株式会社JA里浦ファーム
- ・問合せ先（TEL）：088-612-8401
- ・参考URL：<https://jasatourafarm.com/imohori/>



香川県を一つの大きな農園とする農業体験プロジェクト

体験学習等のイベント内容

- ・野菜や果物の本当のおいしさを知るために大事なこと、それは、作った農家の人に直接、話を聞くこと。つくっている場所をその目で見る。舌だけでなく、心で！脳で！！体全体でおいしさを味わってもらい、「本当のおいしさ」と「驚き」を体験してください。
- ・農業体験以外にも、「農家がやってくる！」と題した各地での料理教室等も実施しており、内容は毎回変わります。
- ・これまで実施された農業体験では、田んぼでの稲刈り体験、ぶどう園での収穫体験、みかん狩り、いちご狩りやぶどうの箱詰め等々。
- ・体験内容は随時更新されていますので、HPでは是非チェックしてみてください。



取組主体の紹介

「さぬき農園ぐらし」は、農家での農業体験や農家の方による料理教室など、農業を体験できる場所を紹介するサービスです。香川県全体を大きな農園として見立て、食の大切さを学ぶ機会の提供を目的として発足した、さぬきファームプロジェクト協議会の取り組みとなります。

イベントに参加するには

「さぬき農園ぐらし」では、年間を通じて様々な体験が可能です。まずは下記HPにて確認を。

- ・取組主体等：さぬき農園ぐらし
- ・問合せ先：090-9312-1467(TEL)
- ・参考URL<http://sanuki-nouengurashi.com/>



檜谷棚田オーナー制度

- ・愛媛県／大洲市
- ・開催時期：田植え期、稲刈り期

“天空の隠れ里”で、1aの田んぼのオーナーになりませんか。

体験学習等のイベント内容

- ・荒廃していく棚田を保全するため、棚田を社会全体の財産と考え、都市住民の協力で保全していきたいと考えています。
- ・体験内容は、棚田1区画(約100㎡)のオーナーとなってもらい田植えや稲刈り時期に、オーナー田で作業を行います。作業時には地元農家等が作業援助を行います。また、おやつのプレゼントもあります(食事は各自でご用意下さい)。
- ・田植えや稲刈りなどの農作業に参加したり、棚田の景観や自然、生産者との交流を通じてリフレッシュすることができるほか、収穫された棚田米や地域の野菜・果物を受け取ることができます。



取組主体の紹介

「檜谷棚田保存会」は、檜谷の棚田を保存するために設立されました。しかし、地元だけでは棚田の維持は難しいです。活動趣旨に賛同してくれる「棚田お手伝い隊」も募集しています！

イベントに参加するには

下記HPから募集要項を確認して、申込書を大洲市農林水産部農林水産課まで郵送またはFAXにて。

〒795-8601 愛媛県大洲市大洲690-1

電話 0893-24-1727 (直通)

Fax 0893-24-1350

- ・取組主体等：檜谷棚田保存会
- ・問合せ先（TEL等）：080-1525-8306

・参考URL：
<https://sites.google.com/site/kashidanitanadahozonkai/home/ownersystem>



大自然の中で田舎のオンちゃんおばちゃんと農業体験

体験学習等のイベント内容

- ・都市部で生活する方々に、高知、仁淀川の大自然を満喫しながら農業体験をしていただき、農作業を通じた癒しを提供することを目的としています。
- ・生産者の想いや苦労、田んぼや土の感触などをリアルに体験し、都会ではなかなか学ぶことのできない「気づき」や「考える力」、「生きる力」を育みます。
- ・田植え体験は5月下旬～6月上旬、稲刈り体験は9月下旬～10月上旬、いずれも2時間程度の体験です。
- ・当地では、水稻の体験の他にも、しいたけの駒打ちの体験も行っています。また、農業体験だけでなく、料理、歴史散策、手作り雑貨づくり等、様々な体験メニューがありますので、あなたがやりたいことがきっと見つかります。



取組主体の紹介

いの町は、都市部から近い立地にもかかわらず、清流日本一に輝いた、仁淀川と吉野川が流れ、さらには国定公園でもある石鎚山系もあり、日本を代表する自然が残る町です。いの町観光協会は「いの旅をもっと楽しく！」ということで、『食』『遊』『泊』『癒』『買』の各方面に全力で取り組んでいます。



イベントに参加するには

農業体験は、希望日の3週間前にお申し込み下さい。

- ・取組主体等：いの町観光協会
- ・連絡先（TEL等）：088-893-1211
- ・参考URL：<https://www.inofan.jp/>

棚田オーナー制度による 田植え・収穫祭

・福岡県／うきは市
・開催時期：田植え5月下旬の土曜・日曜日、収穫祭9月中旬の土曜・日曜日

日本の棚田百選、つなぐ棚田遺産の棚田オーナーとなり農作業、農村の祭りを通じて農村を体験！

体験学習等のイベント内容

- ・日本の棚田百選、つなぐ棚田遺産に選ばれている「つづら棚田」で、棚田オーナーの田植祭りを開催しています。
- ・オーナー約70組が数枚の棚田に分かれて、地元農家の指導を受けながら1本1本丁寧に田植を行っています。
- ・また、他にも年間を通じて収穫祭などの様々なイベントを棚田オーナーと行っています。
- ・米の収穫時期には彼岸花と黄金に輝く稲穂のコントラストは息を飲む景色となっています。



田植え体験の様子

取組主体の紹介

つづら棚田保全協議会

棚田を保全するために地区の住民で組織され、田植えや稲刈りなどの農業体験や交流を通し、棚田の持つ環境保全の効果や農村文化を次世代に伝える活動を行っています。

イベントに参加するには

棚田オーナーの募集は毎年1月頃に行っています。入会希望の方・興味のある方は、以下の問い合わせ先まで。

- ・取組主体等：うきはブランド推進課地域振興係
- ・問合せ先（TEL等）：0943-76-9059(TEL)



つづら棚田の景観